

新
ナガサキ
移住のカタチ
自分らしい生き方

五島大督さん

移住歴1年

Life in Nagasaki

移住者の視点で 大好きなこの町を盛り上げていく。



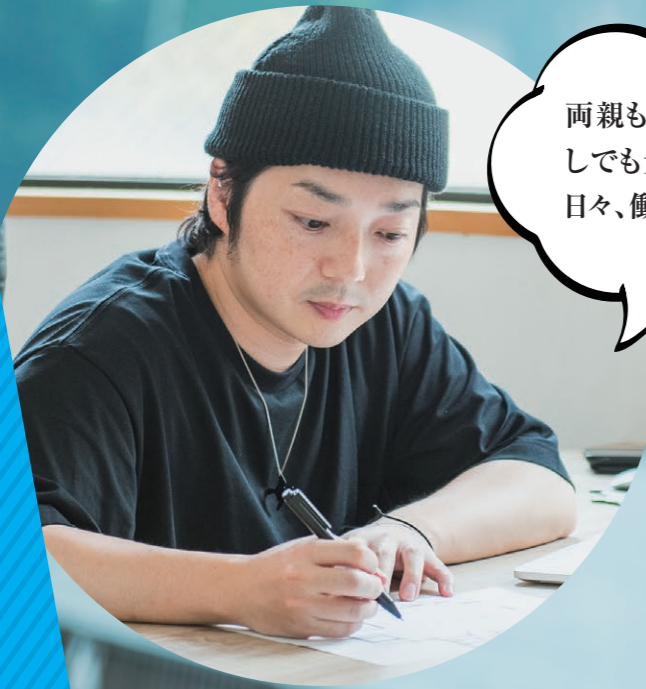
福岡 岡てまちおこしの会社を経営している北村悠樹さんは、出身地の佐世保で同世代の人たちが町を良くしたいと情熱を燃やしている姿を見て、故郷に戻る決心をしたという。その時、声を掛けたのが大先輩で同級生だった五島大督さん。東京でテレビマンとして働いていた五島さんは地方の情報に触れる機会が多かったが、「良いものを持っているのに、発信できていない地域が多い」と常々感じていた。「北村くんから佐世保の話聞き、そこでなら自分のスキルを活かせると思いましたし、三十六歳という年齢を考えたらこれが最後のチャンス。十秒で移住を決めました」と笑う。まちおこしで移住を決めた北村さんは、まちおこしと足先に移住した北村さんを新たなひとに特化した「株式会社えびす」を設立し、五島さんを従業員として迎え入れた。二人の目標は「自らの力で持続可能なまちづくりをする」こと。まずは財源確保のため、電力事業を立ち上げた。この事業の利益をまちおこしの財源に充てるという仕組みだ。また、まちおこしのためには人口増加も大切。二人は移住者を増やすには佐世保の魅力を知ってもらうことが大事

株式会社えびす

佐世保に来て、趣味の釣りがますます楽しくなりました。



両親も暮らすこの町を少しでも元気にするために日々、働いています。



新
ナガサキ
移住のカタチ
自分らしい生き方

北村悠樹さん

移住歴1年半

Life in Nagasaki

だ、YouTubeチャンネル「佐世保ベ」で情報発信をしている。番組の魅力は、五島さんの移住者としての視点。「佐世保の町はコンパクトで、近くに海も山もグルメもある。そこにアメリカの文化まで入っていて、めちゃ面白い！」と、この地に惚れ込んでいる様子だ。移住後は二人の精神面にも変化があった。移住後、「風を感じ、潮の香りや森の匂いによって、「風を感じ、潮の香りや森の匂いを感じようになり、四季を感じるようになった。感情が豊かになりましたね」と五島さんが話せば、「夫婦で過ごす時間が増え、気持ちも安定していますね」と北村さん。北村さんは「移住は一番手つとり早く人を変えられる方法だと思えますね。環境や関わる人が一気に変わるので、自分次第でどうにでも好転できる」と話す。これから子育て世代と一緒に「世界一良い町にしよう」というムーブメントを起こしたいと考えている二人。五島さんの「移住すること、自分を変えられる」という言葉が忘れられない。

まちおこし会社

